

下子讀議總圖集

下子讀議總
全五冊
百二十六

圖集

特
遠13
1857
/



13
1857
1-5

Large vertical calligraphic strokes, possibly a signature or a large character, written in bold black ink.

五卷 正方



湯嶋 於後聽聞集序



會政七改



迎了海心身法... 行の... 古語... 戒了乃... 斬即今一書...

下... 湯嶋...

懐くして予め示はるらんをば彼が
漏るる如きなり加ふる不自己の
意を以て聴聞集と表すに
梅の博覧の先きも其の如く
其れも其れを以て思はば其れ
ありて是れも其れを以て
感くも其れを以て其れを以て

予も懐くらんにもよりのごとや
此の端書くく腰を推して
一笑を

干の雲層を因に生望

東都 獨青子叙



三言集見集

下子漢議徳園集目録

△卷之七

折越と三治工友祐經(返抄)の事

當世相言公將の候

曾我系乃沙法

男他のうりま

料理向の評判



△卷之貳

足至道千祢の事あしきちみちせんちのこゝろ

宮戸川乃事みやとがわのこゝろ

とちり稲荷の事とちりいなりのこゝろ

後より教訓の事あきらよりしゆくんじのこゝろ

主人の侍遠ひ乃事しゆじんのかみとほひのこゝろ

古く講にぎり乃事ふるくかうにぎり乃事

津所より法を乃事つすよりのほを乃事
祢送りの事ちんそうりのこと

△卷之三

鶴殿退下伴物語知道新後序傳法乃事つるどのたいげはなぶものことしちうだうしんごしゆへんぽうほのこゝろ

和歌と俳諧同流なる事わかとはいかいどうりゅうなること

没者津瑞瑞名なげりつずいずいの批判ひはん

浮氣俳諧乃事うきこゝろはいかい乃事

尚世女帝賞状乃事

金粟小倉好乃事

雜合の事

△卷之四

撰之舟名及乃事

因帳靈寶物此乃事

談議僧法一乃事

回取持乃乃事

町道場教刑乃事

△卷之六

八王子殿存蘇送 并 蓬萊金面貴女場

江の浦辨才天より靈紙授け乃事

親孝行の事

兄弟旅支度乃事

談本多柄の事

福祚相談乃少

蓮葉重繁昌此事

下子談義徳圃集題目錄終

下子談義徳圃集卷之一

外竹軒撰

折越と三治と友祐経返折之事

山影門へ入り推ども出ど月光地は友

て掃てと又生は。芝麿塚乃らり。物あ

乃書あし。出るも。遠入も。あごをう。那。

塚町成し。く。爰が。経家し。神田をる。

八町堀のこゝに朽鐵を三治とて。
 粗く乃他者をくも。芝居進所を附合ぐ
 うふ。一。遊業は為の果ありて机の
 上乃月夜よ。を補しては折し。門から
 下り。と。三治松の宿より。いふ。と。志す。こ
 けと立おれば。のこ。く。も。あり。男。も。あ。り。
 系して。こ。い。く。役者。を。い。ひ。し。や。と。

揚屋ぐらゐる物子。けし。と。む。し。け。り。
 中。月。よ。ら。ま。し。先。遣。が。ら。り。ま
 う。し。事。し。せ。ぐ。ら。向。せ。ぬ。り。も。遊。人。遠
 か。ら。れ。ま。し。こ。う。の。あ。ぬ。が。私。事。ハ。京。都
 嵐。三。太。夫。の。宿。中。の。附。合。を。ま。ま。と。友。回
 飛。物。で。い。ご。り。向。し。れ。し。も。人。く。不。仕
 合。あ。り。て。高。賣。り。へ。て。入。り。し。れ。ど。中。

二半 炎 長 徳 四 十 一

〇二

人があらく其の由よりして挨拶し
 其まはそけい状がしりしてさゆごと
 芝居のうらさ。相言のふえ。江戸のいんぢ
 他者。これ状がけしてくれ。からし
 こしし。出せ。よ。活。あま。うら。い。ぬり
 し。あ。よ。く。く。見。ま。ば。た。道。門。宿。經。の
 名。附。そ。し。と。ゆ。ぎ。れ。事。う。ち。封。と。切

し。續。く。し。見。れ。り。り。氣。根。は。く。し。し。て
 長。る。ま。よ。う。く。ま。さ。な。る。は。り。海
 づ。ハ。あ。く。け。み。せ。れ。と。し。危。助。と。ま。れ
 よ。今。時。あ。の。人。の。い。く。く。を。う。他。く。ば。ん。物
 す。り。流。い。あ。る。ま。し。先。曾。我。乃。相。云。な。り。ば
 曾。家。拘。結。の。債。本。入。り。も。左。平。記。あ。り。ば
 左。平。記。乃。講。教。六。文。で。し。し。け。培。ら。ま。氏

三言身野屋集 卷之二

三



あし。丸橋門後とい川でも。大名の橋張
 へ所さば。曾我北彦中へ。夜襲をうでに
 けしものもつぬ。負乏神くと。笑もせ
 家来として。鬼王や。固三郎がひ。柳ぐ
 園霧所せら由へ。冥加乃ん先とて。五月
 ぶと。糸井りて。海で。津浦城あけて。志ん
 ぶらあり。工坂後とい川でも。火少と。くを

らぬ大名教らせ。どの婦人。こころは
 け。し。み。つ。つ。ハ。多。程。を。ら。このま
 あり。本。行。十。部。が。仕。う。ら。城。守。先。ら。る。ぬ。ど。
 今。其。あ。の。や。う。れ。あ。ゆ。め。う。ひ。仕。内。ハ。の。こ
 こ。ま。ぬ。世。間。何。も。め。し。き。事。成。来
 め。矢。況。と。この。む。と。浅。也。乃。人。の。か。あ。ら。ぶ
 ある。事。を。ら。り。と。ぐ。通。好。と。事。も。さ。れ。だ。

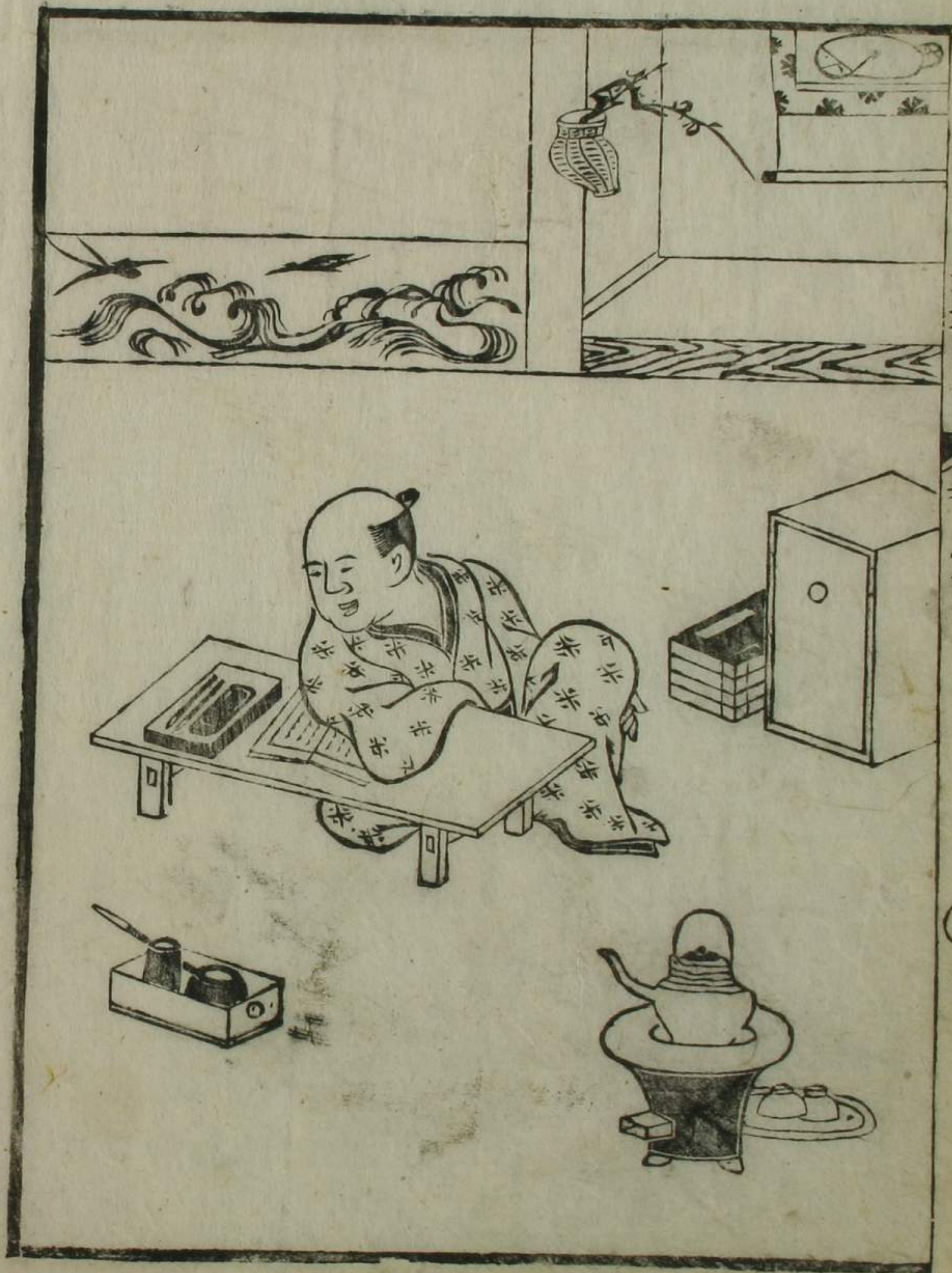
我らの家業にあらあ〜〜〜き事。めび
 ら〜〜〜吳紙紙に〜もば。源也と〜得
 あや。ま〜〜男他の事紙事ま〜〜申く
 じ〜〜紙を〜。律裁ふ〜。乞〜とゆ〜び今
 相〜〜よする。男他〜の〜。なる〜と悪紙
 と〜〜〜紙〜〜。完〜と〜ふある紙得す
 るが。夫が〜紙物乃紙よ〜る事ハ。當付乃

氣にあ〜〜。合わ〜紙さ〜ひ紙了簡志了
 生〜〜〜能ひ。一紙男他を〜。さ〜りあげて
 律〜〜〜紙〜〜ぬ事。由〜と男他の〜
 以〜〜〜紙人たるもの〜せま〜〜き事。喧
 喉〜〜〜紙人よ遠〜〜。男乃の〜紙ら紙立る
 あ〜〜〜紙〜〜紙る人の事とたの〜とせ
 ぬよ〜〜紙〜。世活紙や〜。其上〜〜紙〜紙

と。ちもが答ふに。なるや。男成志く
 ける。嬌氣者。そと。極し。此男地めんども。
 浮する。若の。氣が。知きて。も。づう。い。喧嘩
 が。あも。ば。ごも。く。又。町内。は。役人。が。あり
 て。な。さ。だ。く。唯。は。す。く。ね。な。ま。や。う。と。て
 う。男地。の。と。つ。ぶ。じ。う。も。は。と。の
 男地。の。と。つ。若。も。其。の。う。で。僅。生。し。と。

一。わ。い。ぢ。れ。成。心。と。男。地。を。く。う。子。も。る
 廉。ら。き。事。ハ。今。つ。あ。い。も。さ。あ。い。ん
 ぶ。ゆ。ひ。と。つ。若。が。決。出。せ。む。け。り。一。を
 なる。と。迎。て。あ。い。く。命。打。し。み。と。笑。ふ
 そ。の。も。あ。け。も。い。ま。で。勝。ち。の。ゆ。け。ん。お。も
 を。を。り。尚。せ。り。や。う。り。人。物。は。は。ま。り。や
 只。言。葉。で。入。り。成。る。所。も。と。と。爰。よ。

下等語集 卷之二



びもろ。相之の仕やうと。格別らうと
 管トや。そく。飛脚てあこ。はえちまごが。所
 へ。落着く。ろ。海で。ぬ。も。よ。執見せ。ん。
 り。海。あ。て。と。あ。る。く。ま。ま。で。休。是。し。て
 ち。ど。や。ま。近。澳。を。候。で。と。あ。る。か。又。夏。士
 の。新。整。へ。り。て。彼。人。元。一。は。返。事。成。投。也
 だ。来。さ。う。呉。ま。や。も。と。一。祐。經。後。れ。居。ら

せ。あ。く。は。口。上。で。し。今。そ。あ。こ。し。と。あ。り。と
 り。と。と。張。み。よ。さ。り。な。る。候。ど。と。え。柳。の。は。状
 乃。は。し。き。近。澳。の。り。海。所。一。は。か。さ。ど。き
 を。く。替。へ。ん。と。は。と。れ。ど。も。後。が。地。一。ぬ。ご
 け。り。ま。は。ん。か。ん。ぎ。ん。れ。敵。業。よ。あ。ひ。ま。を。ぬ
 へ。ん。と。替。へ。ん。と。あ。り。と。海。の。り。入。も。と。替。へ
 せ。り。と。と。時。中。に。あ。り。と。あ。り。と。安。紙。と。し。と

所せしむ。ろもことし。きほふ内股がたち
 まはるあ。バ。質乏^{ひんがうげ}神よありと。や。を物^{もの}
 成^{なり}とも。神^{かみ}心志^{こころ}ひりて。あ。生^{せい}よ。そ
 也^ひよ。れ。び。も。せ。ぬ。志^し。一。ご。ご。る。る。簡^{かん}らう。
 糸^{いと}指^{さし}よ。る。ぬ。時^{とき}分^{ぶん}れ。ご。り。ま。あ。園^{えん}指^{さし}乃
 見^みせ。物^{もの}作^し。候^{こう}合^{ごう}と。あ。る。う。そ。ま。を。得^え
 ら。れ。し。も。ま。ま。て。ら。る。や。ま。と。文^{ぶん}細^こく

と書^うき。て。て。光^{ひかり}封^{ふう}ど。仕^しと。く。ハ。後^{のち}を。は
 ど。も。そ。机^{つくえ}。残^{のこ}る。ハ。す。ご。甲^か箱^{ばこ}。所^{ところ}。て。も。後^{のち}
 し。あ。い。び。の。む。ま。す。り。溝^{みぞ}乃^の。通^{とお}生^{せい}が。
 守^{まも}り。の。土^ち産^{さん}。栗^栗條^{じょう}紙^し投^な出^い。と。ぬ



下子侯議德聞集卷之一終



言部野田集卷之二

